

「笑顔の“もと”」奨励賞

| | 学校 | 氏名 | 推薦理由 |
|----|--------|---|--|
| 1 | 今渡南小学校 | 通学分団長、副分団長 | 毎朝、低学年の児童を気遣いながら、皆が安全に登校できるよう活躍し、今渡南小学校の「笑顔の“もと”」である「わくわく感」の土台のひとつとして位置付けている「安心感」を生み出した。 |
| 2 | 土田小学校 | 児童会 | 高学年を中心に、土田小学校の「笑顔の“もと”」である「土田っ子スマイル宣言」の「いつでもどこでもだれにでもあいさつをします」を実行し、毎朝行われる「挨拶ロード」が低学年にも広がった。 |
| 3 | 春里小学校 | あいさつカンパニー 山本 蒼祐 升方 陽士 豊留 朝陽 落合 瑞玖 | 主体的に挨拶ボランティア「あいさつカンパニー」を立ち上げ、毎朝校門に立って挨拶をしている。この活動により、学校全体の笑顔と活気、活力が生み出され、学校の「笑顔の“もと”」につながった。 |
| 4 | 旭小学校 | 前期児童会 | 「笑顔があふれる学校」を目指し、各委員会が全校児童に積極的に働きかけながら活動を行った。 |
| 5 | 旭小学校 | 後期児童会 | 旭小学校を「あったか言葉・あったか行動でいっぱいの学校」にしたいと各委員長に立候補し、積極的に活動している。 |
| 6 | 東明小学校 | 佐橋 璃衣 | 環境副委員長など重要な役割においてリーダーシップを発揮するなど主体性をもち、誰に対しても分け隔てなく接する姿が仲間からの信頼を得ている。東明小学校の「笑顔の“もと”」である「すすんで なかまと おわりまで」を体現している。 |
| 7 | 東明小学校 | 児童会 | 東明小学校の4本柱のひとつである「きらきらあいさつ」について、児童会を中心に全校児童で取り組んでいる。学校内での挨拶運動のほか、通学時の地元住民の方々への挨拶を通して、「笑顔の“もと”」を育んでいる。 |
| 8 | 広見小学校 | 児童会執行部 | 広見小学校の「笑顔の“もと”」である「ぽかぽかあいさつ・ぽかぽかことば・ぽかぽか行動」に関わる活動を展開し、全校児童を明るく笑顔にしている。 |
| 9 | 南帷子小学校 | 6年生一同 | 学年全体で南帷子小学校の「笑顔の“もと”」である「かしこさ・やさしさ・たくましさ」を、あいさつ運動などの主体的な活動や、異年齢活動など仲間を大切にした活動を通して具現している。 |
| 10 | 桜ヶ丘小学校 | 有嶋 翔 | 毎朝、大きな声で挨拶する姿が仲間に波及し、大きな声で挨拶する児童が増えている。また、それをきっかけとして児童会による挨拶活動が行われるなど、学校全体の活動にも大きな影響を与えている。 |
| 11 | 桜ヶ丘小学校 | 児童会執行委員会 | 「桜ヶ丘小 笑顔の“もと”宣言」として、自己肯定感である個人の「できた・わかった・やり切った」を仲間に広め、さらにその良さを個人が取り入れ、また広めるという循環型の『ハッピーターン』を提唱し、実践を積み重ね活動を行っている。 |
| 12 | 今渡北小学校 | 前期児童会 委員長会 | 「うれしい！たのしい！大好き！と思える人・もの・こと」を増やすために、学校の良さやなりたい姿をイメージした学校キャラクター「きたSUN」を誕生させるなど、全校児童で学校の良さや仲間の存在、未来への願いについて考え主体的に取り組んだ。 |
| 13 | 兼山小学校 | 金管バンド RANMARU | 金管バンドの活動を通して、目標に向かって努力することで得られる達成感や、仲間に寄り添い教え合う中で人間関係が育まれ、兼山小学校が目指す「自信とやる気、思いやりの笑顔」につながっている。 |
| 14 | 蘇南中学校 | 渡邊 海友 | 級長として仲間に寄り添いながら様々な活動をリードし、学習においては納得できるまで取り組む姿が見られる。地域でのボランティア活動等に参加し、地域貢献を行うなど学校外の活動にも積極的に参加している。 |
| 15 | 蘇南中学校 | 塚本 芽愛 | 「目指す自分」として「何事にも真剣に取り組み、仲間と助け合える自分」を掲げ、学級での課題発見・解決に取り組むなど、仲間のために主体的に行動している。 |

「笑顔の“もと”」奨励賞

| | 学校 | 氏名 | 推薦理由 |
|----|--------|-------|--|
| 16 | 蘇南中学校 | 各務 香音 | 級長としての活動や、授業中の挙手発言、音楽コンクールへの挑戦など、自己の成長のために主体的に取り組む姿が、周囲の意欲を引き出し、学級全体を明るく前向きな雰囲気にしている。 |
| 17 | 蘇南中学校 | 生徒会 | スローガンを「煌めく」と定め、体育大会や縦割りレクリエーション、ボランティアなど、お互いの良さに気づくための活動を企画するなど、学校の教育目標である「自己を生かす生徒」の実現に向けて活動している。 |
| 18 | 西可児中学校 | 太田 結菜 | ボランティア委員のメンバーとして校庭の草抜きを毎朝行い、学校の教育目標のひとつである「人のために働く『貢献』の姿」を示すことで、その価値を全校に広めている。 |
| 19 | 西可児中学校 | 山本 夏煌 | ごみ出しボランティアを経験したことをきっかけに、その後も自主的に活動を継続し、ひとり暮らしの高齢者へのごみ出し支援を行う姿は、学校の教育目標である「自立」「共生」「貢献」を体現するものである。 |
| 20 | 西可児中学校 | 駅伝部 | 記録の向上のために励まし合い、主体的に練習に取り組む姿は、学校の教育目標である「自立」「共生」を体現するものであり、地区大会では男女ともに優勝を果たした。 |
| 21 | 広陵中学校 | 黒川 夏希 | 陸上競技において努力を重ね、挑戦し続けた。令和7年度全国中学校総合体育大会陸上競技においては、女子400mリレーの第1走者として活躍し、優勝を果たした。 |